

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第48期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社ストライダーズ |
| 【英訳名】 | Striders Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 早川 良一 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区新橋五丁目13番5号 |
| 【電話番号】 | 03(5777)1891 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 兼 CFO 前田 嘉也 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区新橋五丁目13番5号 |
| 【電話番号】 | 03(5777)1891 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 兼 CFO 前田 嘉也 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第47期 第2四半期連結 累計期間 | 第48期 第2四半期連結 累計期間 | 第47期 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日 | 自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 1,170,310 | 510,670 | 2,141,045 |
| 経常利益(損失) (千円) | 18,879 | 114,418 | 46,005 |
| 四半期(当期) 純利益(損失) (千円) | 97,093 | 52,882 | 186,067 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 66,776 | 53,392 | 71,136 |
| 純資産額 (千円) | 1,576,323 | 1,192,108 | 1,571,946 |
| 総資産額 (千円) | 3,293,065 | 1,721,838 | 3,690,368 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額(損失) (円) | 1.31 | 0.71 | 2.50 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 40.0 | 69.2 | 33.7 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 134,905 | 138,584 | 57,416 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 1,251 | 190,428 | 395,728 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 89,719 | 492 | 432,221 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円) | 563,155 | 735,731 | 704,212 |

| 回次 | 第47期 第2四半期連結 会計期間 | 第48期 第2四半期連結 会計期間 |
|---------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (損失) (円) | 0.10 | 0.84 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。
3. 第47期第2四半期連結累計期間及び第47期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失及び当期純損失であるため記載しておりません。また、第48期第2四半期連結累計期間については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第47期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（株式会社ストライダーズ）、子会社3社により構成されており、IT関連事業、企業再生再編事業、不動産賃貸管理事業を主たる業務としております。

当第2四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

< IT関連事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

< 企業再生再編事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

< 不動産賃貸管理事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

< フィナンシャルサービス事業 >

当社の連結子会社でありましたYour Capital Co., Limited（韓国）は、平成23年5月16日に同社の当社所有の全株式を売却いたしました。これによりフィナンシャルサービス事業から撤退しました。

< その他の事業 >

当社は、平成23年4月20日にグローバル芸術家有限責任事業組合を設立し、絵画等に対する投資事業を行うことといたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災による甚大な被害と原発事故の影響による電力供給の制限から、企業の生産活動の低下や個人消費の落ち込み等、景気は大変厳しい状況で推移いたしました。

また、米国の景気後退懸念や欧州の金融不安を背景とした円高・株安の進行により、今後の景気見通しにつきましても依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは本社移転や人件費・外注費の削減等のコストダウンを進め、また各事業において新規の顧客や案件の開拓に努めてまいりました。

また、平成23年5月には韓国においてフィナンシャルサービス事業を展開しておりましたコア・キャピタル社の全株式を譲渡し、連結子会社より除外いたしました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高510百万円（前年同四半期比56.4%減）、営業損失121百万円（前年同四半期は営業利益52百万円）、経常損失114百万円（前年同四半期は経常利益18百万円）となり、期中に連結子会社コア・キャピタル社を売却したことによる特別利益の計上等により、四半期純損失52百万円（前年同四半期は四半期純損失97百万円）となりました。

セグメントの業績における概要は以下のとおりです。

IT関連事業

IT関連事業につきましては、企業の収益は回復基調にあり内部統制の対応強化や、ITシステムに関するセキュリティ対策のニーズは底堅いものの、震災の影響もあり、システムへの投資にあたってはその効果を慎重に検討するという姿勢が見られました。

当社はこのような状況下、「SMART FILTER」（ウェブサイトアクセスの制限や悪質なウェブサイトからのウィルス・スパイウェアの進入防止、ウェブメールの利用制限による情報漏洩防止等の機能を持つサーバー型フィルタリングソフト）を主力とした、法人向けネットワークセキュリティ商品の販売に注力し、営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業に努めてまいりました。また、主力商品のサポート品質のさらなる向上や、新規商品の開拓に注力してまいりました。

しかしながら、既存顧客の競合製品への乗り換え等の厳しい受注環境が続いており、売上高は41百万円（前年同四半期比14.1%減）、営業損失は17百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）となりました。

企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、長期化する景気の低迷や震災の影響等により、企業再生・再編の関連分野におけるニーズは引き続き高く、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社は、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等、多様な案件に取り組んでまいりました。

しかしながら、複数の企業再生プロジェクトに取り組んでいるものの、案件の難易度や株式相場、金融情勢の変化による影響等により成功報酬の獲得に至らず、売上高は9百万円（前年同四半期比11.2%減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、不動産市況の悪化の影響を受け、新規の管理受託件数の落ち込みや、不動産ファンドや個人オーナーの物件売却に伴う解約の発生により管理戸数が伸び悩む等、厳しい環境が続いております。

このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理を強みとし、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。しかしながら、不動産ファンドの物件売却に伴う解約の発生による家賃収入の減少や、不動産仲介店舗につきましては第1四半期の閑散期における売上が伸び悩んだこと等により、売上高は459百万円（前年同四半期比33.0%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期比90.7%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、735百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純損失、のれんの償却、たな卸資産の増加等により138百万円の資金の減少となりました。前年同期と比べますと3百万円の減少となっております。

主な要因は、たな卸資産の増減額が45百万円減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入等により190百万円の資金の増加となりました。前年同期と比べますと189百万円の増加となっております。

主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が179百万円であったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、492千円の資金の減少となりました。前年同期と比べますと89百万円の減少となっております。

主な要因は、前年同期に社債の発行による収入が129百万円であったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 180,000,000 |
| 計 | 180,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|----------------|
| 普通株式 | 74,330,896 | 74,330,896 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株数 1,000株 |
| 計 | 74,330,896 | 74,330,896 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金 増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 74,330,896 | - | 1,314,406 | - | - |

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|---------------------------------------|--|---------------|--------------------------------|
| 新興支援投資事業有限責任組合 無限責任組合員 井上靖 | 東京都千代田区神田須田町2 - 8 | 23,000 | 30.94 |
| TCSホールディングス 株式会社 | 東京都中央区日本橋本町4 - 8 - 14 | 6,717 | 9.04 |
| MUTOHホールディングス 株式会社 | 東京都品川区西五反田7 - 21 - 1 | 3,312 | 4.46 |
| 福光 一七 | 大阪府大阪市西成区 | 1,730 | 2.33 |
| DAIWA CM SINGAPORE LTD (TRUST A/C) | 6 SHENTON WAY #26-08 DBS BUILDING TOWER TWOSINGAPORE 068809 | 956 | 1.29 |
| 福光 大輔 | 大阪府大阪市浪速区 | 850 | 1.14 |
| 株式会社ジェイジェイ | 大阪府大阪市西区南堀江1 - 21 - 4 | 600 | 0.81 |
| 久原 須美代 | 三重県四日市市 | 592 | 0.80 |
| 徳田 岩雄 | 東京都台東区 | 550 | 0.74 |
| 梅田 文夫 | 東京都板橋区 | 549 | 0.74 |
| 計 | - | 38,856 | 52.27 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 23,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 74,262,000 | 74,262 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 45,896 | - | - |
| 発行済株式総数 | 74,330,896 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 74,262 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数 の合計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|----------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 株式会社ストライダーズ | 東京都港区新橋五丁目 13 - 5 | 23,000 | - | 23,000 | 0.03 |
| 計 | - | 23,000 | - | 23,000 | 0.03 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 580,700 | 775,731 |
| 売掛金(純額) | ¹ 43,450 | ¹ 39,460 |
| たな卸資産 | ² 6,834 | ² 52,451 |
| 営業貸付金(純額) | ¹ 1,885,398 | - |
| その他 | ¹ 250,176 | ¹ 67,039 |
| 流動資産合計 | 2,766,560 | 934,683 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 15,707 | 15,581 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 404,101 | 372,453 |
| その他 | 17,410 | 14,468 |
| 無形固定資産合計 | 421,511 | 386,922 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 367,963 | 317,093 |
| その他 | ¹ 118,624 | ¹ 67,558 |
| 投資その他の資産合計 | 486,588 | 384,652 |
| 固定資産合計 | 923,807 | 787,155 |
| 資産合計 | 3,690,368 | 1,721,838 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 26,380 | 29,208 |
| 短期借入金 | 763,730 | 90,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 422,084 | - |
| 未払法人税等 | 9,899 | 3,377 |
| 賞与引当金 | 13,311 | 9,692 |
| 預り金 | 92,419 | 86,933 |
| 繰延税金負債 | 56,617 | - |
| その他 | 127,132 | 89,004 |
| 流動負債合計 | 1,511,575 | 308,216 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 266,464 | - |
| 長期借入金 | 75,735 | - |
| 退職給付引当金 | 1,647 | - |
| 役員退職慰労引当金 | 12,514 | - |
| 長期預り敷金保証金 | 250,484 | 221,514 |
| 固定負債合計 | 606,846 | 221,514 |
| 負債合計 | 2,118,422 | 529,730 |

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,314,406 | 1,314,406 |
| 利益剰余金 | 28,051 | 80,934 |
| 自己株式 | 2,916 | 2,923 |
| 株主資本合計 | 1,283,438 | 1,230,548 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,742 | 38,909 |
| 為替換算調整勘定 | 45,173 | - |
| その他の包括利益累計額合計 | 38,430 | 38,909 |
| 少数株主持分 | 326,938 | 469 |
| 純資産合計 | 1,571,946 | 1,192,108 |
| 負債純資産合計 | 3,690,368 | 1,721,838 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,170,310 | 510,670 |
| 売上原価 | 624,420 | 373,335 |
| 売上総利益 | 545,890 | 137,335 |
| 販売費及び一般管理費 | 492,969 | 258,724 |
| 営業利益又は営業損失() | 52,921 | 121,389 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,690 | 1,570 |
| 受取配当金 | - | 25,760 |
| 受取賃貸料 | 2,400 | - |
| 受取補償金 | 900 | - |
| 受取手数料 | 1,281 | 3,145 |
| 償却債権取立益 | - | 716 |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 3,880 |
| その他 | 250 | 3,819 |
| 営業外収益合計 | 6,522 | 38,892 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 603 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,968 | - |
| 債権売却損 | - | 10,501 |
| 為替差損 | 38,595 | 20,816 |
| 営業外費用合計 | 40,564 | 31,921 |
| 経常利益又は経常損失() | 18,879 | 114,418 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | - | 11,731 |
| その他 | 1,836 | - |
| 特別利益合計 | 1,836 | 11,731 |
| 特別損失 | | |
| 過年度為替差損 | 117,258 | - |
| 固定資産除却損 | 89 | 741 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 1,008 | - |
| 特別損失合計 | 118,355 | 741 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 97,639 | 103,428 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21,868 | 889 |
| 法人税等調整額 | 8,389 | 51,404 |
| 法人税等合計 | 30,258 | 50,514 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 127,897 | 52,913 |
| 少数株主損失() | 30,804 | 30 |
| 四半期純損失() | 97,093 | 52,882 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 127,897 | 52,913 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 254 | 45,652 |
| 為替換算調整勘定 | 61,374 | 45,173 |
| その他の包括利益合計 | 61,120 | 478 |
| 四半期包括利益 | 66,776 | 53,392 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 67,280 | 53,361 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 503 | 30 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失() | 97,639 | 103,428 |
| のれん償却額 | 30,145 | 29,144 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 15,513 | 10,067 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 3,221 | 3,618 |
| その他の引当金の増減額(は減少) | 7,871 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,690 | 27,330 |
| 支払利息 | - | 603 |
| 為替差損益(は益) | 38,595 | 20,817 |
| 過年度為替差損 | 117,258 | - |
| 関係会社株式売却損益(は益) | - | 11,731 |
| 固定資産除却損 | 89 | 741 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 55,362 | 4,408 |
| 営業貸付金の増減額(は増加) | 209,021 | - |
| たな卸資産の増減額(は増加) | - | 45,617 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 11,835 | 2,826 |
| 預り金の増減額(は減少) | 12,590 | 2,604 |
| 預り敷金及び保証金の増減額(は減少) | 13,493 | 28,970 |
| その他 | 6,158 | 10,949 |
| 小計 | 87,798 | 163,877 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,285 | 27,396 |
| 利息の支払額 | - | 603 |
| 法人税等の支払額 | 49,392 | 1,500 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 134,905 | 138,584 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | - | 179,482 |
| 貸付金の回収による収入 | 8,281 | 6,500 |
| 差入保証金の差入による支出 | 4,360 | 8,488 |
| 差入保証金の回収による収入 | - | 16,829 |
| その他 | 2,669 | 3,895 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,251 | 190,428 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 340,252 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | 369,819 | - |
| 社債の発行による収入 | 129,960 | - |
| 社債の償還による支出 | 10,640 | - |
| その他 | 32 | 492 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 89,719 | 492 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,167 | 20,817 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 51,101 | 31,518 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 614,257 | 704,212 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 563,155 | 735,731 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

(連結の範囲の重要な変更)

1. 前連結会計年度まで連結子会社であったYour Capital Co., Limited (以下「ユア・キャピタル社」という。)は、第1四半期連結会計期間において、当社が保有する全株式を売却したため、連結の範囲から除いております。当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に与える重要な影響の概要については、以下のとおりであります。
ユア・キャピタル社は、当社の持分が48.99%の連結子会社であり、前連結会計年度の経営成績につきましては、売上高826,921千円、営業利益240,676千円、経常利益201,719千円、当期純利益57,056千円でありました。
また、前連結会計年度の財政状態につきましては、流動資産2,128,152千円、固定資産10,723千円、流動負債1,139,099千円、固定負債356,361千円でありました。
したがいまして、ユア・キャピタル社を連結の範囲に含めないことにより連結財務諸表上、上記に相当する減少が見込まれます。
2. グローバル芸術家有限責任事業組合を当社の出資比率99%により設立したことにより、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 | 1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 |
| 流動資産 123,355千円 | 流動資産 39,297千円 |
| 投資その他の資産 9,999千円 | 投資その他の資産 64千円 |
| 2. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。 | 2. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。 |
| 商品 2,625千円 | 商品 47,096千円 |
| 貯蔵品 4,209千円 | 貯蔵品 5,354千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------|---|---|
| 給料手当 | 78,366千円 | 74,427千円 |
| 販売手数料 | 111,063 | - |
| 賞与引当金繰入額 | 10,780 | 5,631 |
| 退職給付費用 | 3,121 | 2,132 |
| 役員退職慰労引繰入額 | 766 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | 58,631 | - |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 525,619千円 | 775,731千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | - | 40,000 |
| 取得日から3ヶ月以内に償還期限の 到来する短期投資(流動資産(その 他)) | 37,536 | - |
| 現金及び現金同等物 | 563,155 | 735,731 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | IT関連 事業 | 企業再生 再編事業 | 不動産賃貸 管理事業 | フィナンシャル サービス 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 48,196 | 10,585 | 686,438 | 425,089 | 1,170,310 | - | 1,170,310 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 48,196 | 10,585 | 686,438 | 425,089 | 1,170,310 | - | 1,170,310 |
| セグメント利益又は 損失() | 6,707 | 20,995 | 59,826 | 134,517 | 180,056 | 127,135 | 52,921 |

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額 127,135千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1、4 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|------------|--------------|---------------|---------------|---------|-------------|-----------------------|
| | IT関連 事業 | 企業再生 再編事業 | 不動産賃貸 管理事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 41,409 | 9,400 | 459,861 | - | 510,670 | - | 510,670 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 41,409 | 9,400 | 459,861 | - | 510,670 | - | 510,670 |
| セグメント利益又は 損失() | 17,915 | 16,165 | 5,579 | 910 | 29,411 | 91,978 | 121,389 |

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、絵画等投資事業を含んでおります。

2.セグメント利益又は損失の調整額 91,978千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3.事業区分の変更

事業区分の方法につきましては、従来、「IT関連事業」、「企業再生再編事業」、「不動産賃貸管理事業」、「フィナンシャルサービス事業」の4区分により分類をしておりましたが、「フィナンシャルサービス事業」につきましては、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたYour Capital Co., Limitedを連結の範囲から除外したことに伴い事業区分を廃止いたしました。

4.第1四半期連結会計期間において、絵画等投資事業を行うグローバル芸術家有限責任事業組合を設立したことに伴い「その他」を新たに区分いたしました。

5.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額 | 1円31銭 | 0円71銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失金額(千円) | 97,093 | 52,882 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失金額(千円) | 97,093 | 52,882 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 74,309 | 74,307 |

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

株式会社ストライダーズ
取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鈴木 教夫
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 大兼 宏章
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ストライダーズの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ストライダーズ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。